

【市内小学校の部 伊良子清白賞】

## 広い海に背を向けて

鳥羽市立菅島小学校 六年

木下 順平

ぼくのぼあちゃんは、  
脳梗塞で入院しています。

いつも一緒にいたじいちゃんは、  
悲しい、寂しい、早く帰ってきてほしい。  
そう感じていると、思います。

でも、じいちゃんは、  
広い海に背を向けながら、  
のりの仕事をしています。

悲しい、寂しい、早く帰ってきてほしい。  
けど、がんばって仕事をしています。

「ぼあは、大丈夫だろうか？」  
心の中ではそう思っているでしょう。  
きつと、不安でしょう。

けれどじいちゃんは、  
心は折れないし、仕事も続けます。  
だってぼくのじいちゃんは、

船の機械にはさまれて、  
左うでが不自由になっても、  
どんな困難も乗り越えてきたのです。

今日も朝からのり小屋に行つて、  
広い海に背を向けて、  
悲しいことも寂しいことも忘れようと  
仕事のことだけに集中しています。  
でも、やっぱり悲しく、寂しくなると、  
広い海を見渡しています。

ばあちゃん。

早く帰つてきてください。

じいちゃんとのり小屋の前で話をして、  
お菓子を食べながら笑っている、  
そんな姿を見せてください。

そして、

二人一緒に、

長生きしてください。